

### 人の紹介 作曲家 小松正史さん

こんなに心に響く音楽を聴いたのは初めてでした。数年前に箱根のポーラ美術館でその音楽とめぐり会いました。この曲はどなたが…と探していましたら、やっとご本人と会うことができました。お会いしたのは、6月8日金曜日。東京のお仕事の帰り道に、静岡のむつごろう薬局によって頂きました。小松さんは、阪大を出られて京都精華大学人文学部教授をしています。その傍ら、作曲家、ピアニスト、音育家そして博士と変わった経歴の持ち主です。何か心が通じる気がして、会ってから一瞬で気持ちが打ち解けました。

これから、二人で漢方薬を作曲することを決めました。  
漢方を作曲……？  
どんなことが起ってしまうのでしょうか。とてもワクワクしています。



### INFORMATION

#### 静岡のロコミサイト「静岡ナビっち！」

静岡のロコミサイト「静岡ナビっち！」にお客様よりご紹介頂きました。ありがとうございます。  
<https://www.shizuoka-navichi.net/shop/shop.shtml?s=4893>

#### 静岡オンライン「WOMO」…

**30代の不快な症状を漢方に頼ってみる。**  
P22に掲載いただきました。お店でも雑誌をお配りしています。

#### お盆休みのお知らせ

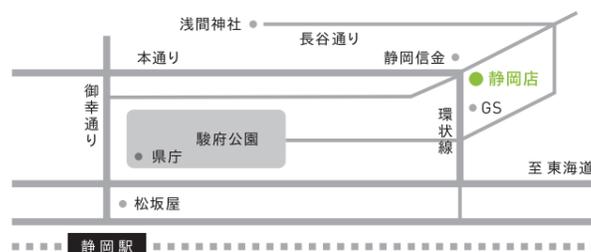
静岡店、東京店(むつみ薬局)ともに8月11日(土・祝)から8月15日(水)までお休みを頂きます。



静岡店(むつごろう薬局)  
所在地: 〒420-0865 静岡市葵区東草深町22-1  
TEL: 054-(247)-6006  
FAX: 054-(247)-6007  
営業時間: 10:00~18:00 (18時以降は、要予約)  
定休日: 日曜日・祝日  
HP: <http://www.mutsugoro.co.jp>  
EMAIL: [info@mutsumi.co.jp](mailto:info@mutsumi.co.jp)



東京店(不妊治療専門薬局むつみ薬局)  
所在地: 〒104-0061 東京都中央区銀座3-8-17  
銀座理容会館ビル2F  
TEL・FAX: 03-(3563)-6238  
営業時間: 10:00~19:00 (予約制)  
営業日: 火曜日・土曜日  
HP: <http://www.ginzamutsumi.com>  
EMAIL: [info@ginzamutsumi.com](mailto:info@ginzamutsumi.com)



# MUTSUGORO & MUTSUMI PHARMACY NEWSPAPER

no.186

むつごろう & むつみ薬局新聞



2018年大学講義から

### 消えていく毛細血管

皆さんこんにちは。

暑くジメジメした季節の始まりです。汗は不快ですが、体の毒素を出してくれます。水分補給に気を付けながら朝食前の15分の運動で汗を流すとよいと思います。ついでに休日のお昼寝30分もお忘れなく。

さて、私は2018年東邦大学薬学部の漢方講義も終わり、少しホッとしています。今年も充実した時間を過ごせました。小池教授、李准教授をはじめ生薬教室の皆様方には深く感謝しています。ありがとうございます。今回は、その講義の中から抜粋した「血行障害から起こる体調不良」についてお話をさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

#### めぐっていることが健康の秘訣

水はけの悪い畑では作物が育たないように、自然界は

常に循環を望んでいます。もちろん私たちの体も同じで、血流が滞ると病気になってしまいます。これを東洋医学では瘀血(おけつ)と呼びます。また、気が滞ることを気滞と言い、喉の辺りに何か異物があって咳払いしてもなかなか取れません。よく食道ガンではないかと心配してしまうのですが、そこには何もありません。水が滞ると水毒と言ってむくみや、めまい、頭痛の症状が起こります。この3つの中で特に気を付けなければならないのは、血液のめぐりが悪くなる事です。お腹に溜まったヘドロのような瘀血は、生理不順、生理痛、子宮筋腫、卵巣嚢腫、不妊症などの婦人科の病気に留まらず、鼻炎、喘息、肝炎、胃炎、動脈硬化、アトピー性皮膚炎、果てはガンに至るまで限りなく悪さをします。瘀血は生理異常、産後の無理、打撲、手術などが原因となるだけでなくストレス、運動不足、便秘、肝炎や胃炎の出す毒素、環境の汚染、食物の添加物、農薬、保存料までがヘドロのもとになります。

この、「気・血・水」がいつも同じリズムで体をめぐり、自然治癒力が強化されて、体内の排毒力が高まることで、健康の秘訣になると東洋医学は教えてくれています。

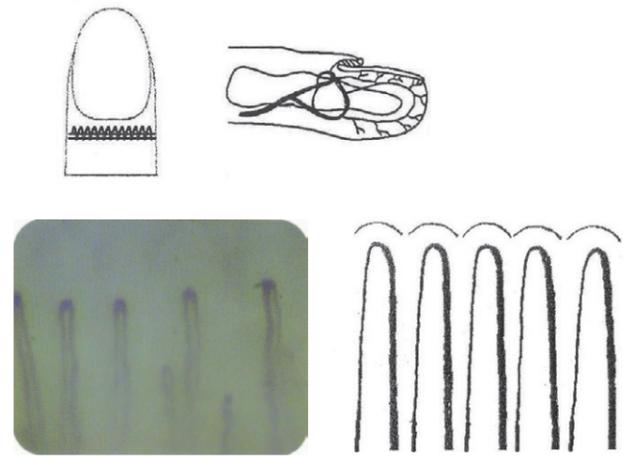
#### おけつ 瘀血の見つけ方

病は、始まりが肝心です。健康診断のように早い段階で見つけることができれば、悪化しなくて済むからです。この怖い瘀血を見つけるには、どうしたら良いのでしょうか。血の流れがとどこおると、目のまわりにくまが出来たり、皮膚はガサガサし、しみが出来たり、唇や歯ぐきが黒ずみ、舌の裏側には静脈の怒張が見られるようになり、イライラ、疲れ、頭痛、肩こり、のぼせ、冷えなどの症状がではじめます。また、ヘドロは下腹部に溜まりやすく、おへその周りの特定の場所を腹底に向かって、

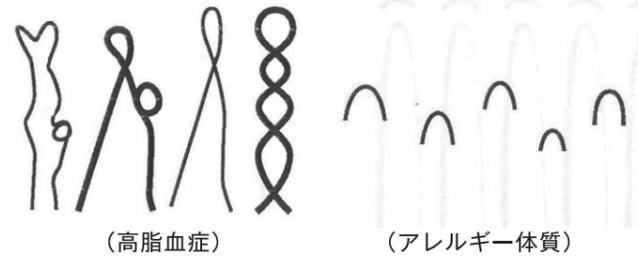
指で押すと、上下または左右にピーンとひびくような圧痛を覚えます。これを東洋医学では「瘀血の圧痛点」と呼びます。そして、最新の機械では、顕微鏡を使って薬指の爪の生え際の毛細血管を見ることができるようになりました。この細い血管の血流が悪いと瘀血が始まりつつあると考えられます。

### ゴースト血管

最近 NHK の番組を見た方も多いと思います。これは、細い血管の休眠化を言っています。大阪大学の高倉先生によりますと、ゴースト血管はアルツハイマー、冷え性、肝臓、腎臓、むくみ、しわ、骨粗鬆症の原因にもなると言うのです。原因を作っている要素は、運動不足、糖分過多、更年期。それでは、実際に爪の先の血管を見てみる事にいたしましょう。まずはじめの画像は測定する場所で、左薬指の爪の生え際を観察します。特殊な顕微鏡で見るとそこには毛細血管の折り返しの部分があります。尖りの山が7本見えるのがそれです。毛細血管の本数が多く、長い。左右の太さの比率が1：3位で、血液の流れが速く、同じ長さ、高さ、同じ配列であることが、良い流れと考えられています。



食生活や生活習慣のバランスが崩れてくると毛細血管の形・太さ・流速に変化が出てきます。(1～3ヶ月位で変化) ビジュアルとして観察できるので強烈なインパクトですよね。背景の濁りは老廃物が蓄積している事が考えられます。疲れや睡眠不足により変化があります。(1週間位で変化) 真皮乳頭(基底層)が無い状態では新陳代謝の低下やむくみが考えられます。



また、上の図のように尖り山が変形する場合があります。高脂血症のように血液の質が悪い場合は、すべての微小循環が変形になることがあります。食事の改善と運動が必要です。また、アレルギー体質の形は小さな山になってしまいます。そしてそれが過度に進むと、血流が悪くなり血管自体が消えてきます。これがゴースト血管です。ただ心配しないでください。早く気付き食事、休養、運動を心掛ければ4週間ぐらいで血管は戻ってきます。これからの時期は、暑い日が続きます。甘く冷たい飲料水やアイスクリームは、からだを冷やすだけでなく瘀血の原因になります。強いては秋の病気の原因にもなってしまいます。

この度、むつごろう薬局静岡店では、この血流を観察する機械を導入致しました。ご興味がある方は、一度お店に来て測ってみてください。健康のために、瘀血を早く見つけて行きましょう。

### 氣の中に米

埼玉県にある三峯神社の「白い氣守り」の頒布が6月1日より休止になりました。私は休止になるということを見えていたのですが、知らないで行った方の様子もテレビで見たので、取り上げてみます。三峯神社のご神木が入っている「白い氣守り」は1日にお祓い、祈念して、毎月1日のみ限定で頒布されてきましたが、大渋滞のため休止になったそうです。テレビで頒布日の追加をする案が出ましたが、お朔日(ついたち)参りでなければ意味がないということでした。静岡浅間神社では朔日参りに合わせ、奈良時代ににぎわった「安倍の市」が「平成安倍の市」として復活して開かれていて、10月1日で2周年を迎えるようです。昨年の6月にたまたま行って「平成安倍の市」が1日に開かれていることを知りました。

訪問マッサージをしていた時に、患者さんの足首に赤い糸が巻かれていることに気づきました。毎月1日に赤

い糸を結ぶと転びにくくなるとおっしゃっていた覚えがあります。調べてみたところ、滋賀県の赤後寺に転利(ころり)の糸という赤い糸があるそうです。説明文の写真には、…手首、足首などにヒモ状に燃ってまきつけていると「転倒防止」や「ころんでも意外とケガなどしない」と言われております。適当にお取替えしてご使用ください…と書いてあり、1日とは書いてありませんでした。患者さんがつけていたのが転利の糸が分かりませんが、細い糸でした。時々左の足首に違和感があるので、赤い糸のことを思い出して5日目くらい経つのですが、特に変化を感じていませんでした。ヒモ状にすれば変化があったかもしれません。

以前、鍼灸の講習会に行ったときに、参加していた方が最近腰にヒモを巻くようにして調子がいいと言っていました。どう調子がいいのか具体的に聞いておけばよかったです。その頃、他でもヒモトレという言葉を目にしていました。ヒモトレは、ヒモが肌に触れる刺激がきっかけで、体の働きのバランスを整えると考えられています。今回、「タスキ」と「へそヒモ」をしながら、この記事を書いていましたが、自然といい姿勢になるのを

感じました。経絡は縦に走っています。帯脈という奇経だけ、帯状に腰腹部の間を走っていて、経絡を束ねる作用があります。帯脈のように手首、足首にヒモを巻くことでそれぞれ6本ずつ走っている経絡を束ねることができるのかもしれませんが。登呂遺跡で体験できる縄紐で結ぶ貫頭衣を思い出しました。大変な米作りも縄紐のおかげで負担が軽減されていたのでしょう。



氣の中に米

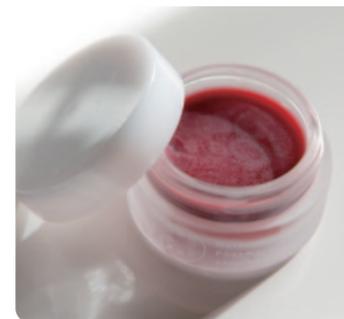
### INFORMATION

#### 主婦の友「妊活スタートBOOK」掲載のお知らせ

「授かりたい体づくりを」と題しまして、掲載されました。お客様のアンケートを頂いたものも載せて頂きました。むつごろう・むつみ薬局で、多くの方からメッセージを頂きました。本当にありがとうございます。



満開の当帰の花



自家製 紫雲膏

#### 「むつごろう健康五ヶ条」

- 一、人は自然界の一部であり、その調和で成り立つ。
- 一、心と身体は常に一体である。
- 一、なぜ病になったのか、その原因を考えること。
- 一、無理せず、無駄せず、継続すること。
- 一、真の健康とは、心と身体が調和し常に自然体である。

### はこにわ薬草畑

この時期は大変です。畑には敵が多いからです。先日も作業が終わり足を見たら、膝下横一列に五ヶ所刺されていました。赤く充血して2日ほどかゆみが治まりませんでした。こんな時は自家製「紫雲膏」の出番です。自家製無農薬の当帰の根が成分に入ります。すっかり良くなりました。ところで6月の畑はとんでもないことが起きました。当帰の花が畑一面咲いたのです。かつてこのような経験がありませんでしたので、とても感動です。9月までは、暑さと虫との戦いが繰り広げられる薬草畑です。汗をたっぷりかきたいと思います。